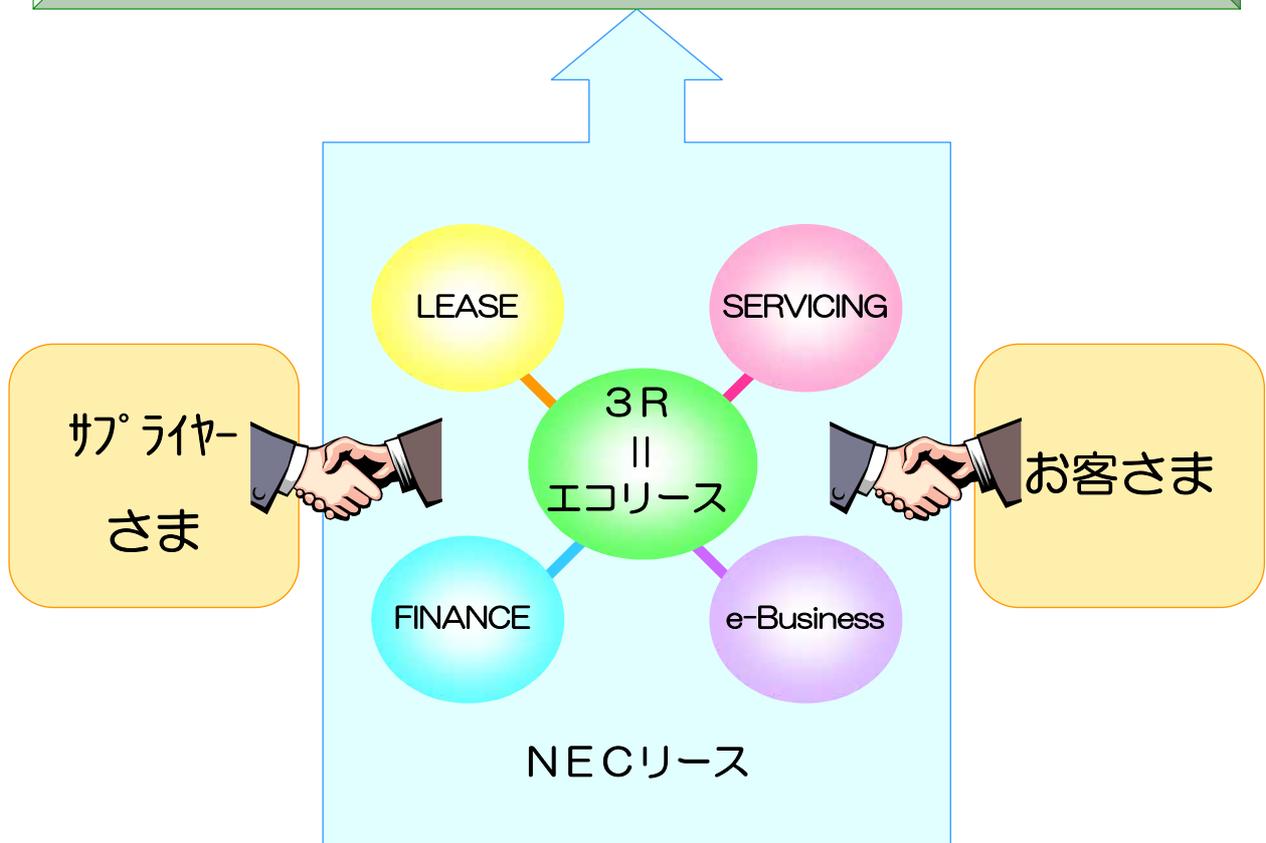


# 環境報告書 2003

お客さまとともに循環型社会を構築します

— 物の所有から機能の所有へ —



Best Partner Financial Services

**NECリース**

## ～ 目 次 ～

<u>ごあいさつ</u>	<u>2</u>
<u>環境管理活動のあゆみ</u>	<u>3</u>
<u>NECリースの環境経営</u>	<u>4～7</u>
環境マネジメントシステム	
環境活動推進体制	
環境方針	
2002年度目的・目標と実績	
2003年度目的・目標	
<u>環境会計</u>	<u>8</u>
<u>活動事例</u>	<u>9～14</u>
環境経営活動	
コミュニケーション	
環境教育・意識啓発	
社会貢献活動	

### 【会社概要】

商 号	NECリース株式会社（英文社名 <b>NEC Leasing,Ltd.</b> ）
本 社 所 在 地	〒108-0014 東京都港区芝五丁目 29 番 11 号（NEC住生ビル） <b>TEL.03-5476-5625</b>
創 業	1978年11月30日
事 業 目 的	1.情報関連機器、事務用機器、工作機械、医療用機器、商業用機械・設備、 理化学機器、通信機器、厨房機器、精密機器、光学機器、公害防止機械、 その他の機械設備・備品等の賃貸借、売買（割賦販売含む）および保守管理 2.各種債権の売買 3.金銭の貸付、立替払、保証およびその他金融業務 4.集金代行業務 5.有価証券の保有、運用および売買 6.前各号に付帯関連する一切の事業
資 本 金	払込資本金 8億円
主 要 株 主	日本電気株式会社 株式会社三井住友銀行 住友信託銀行株式会社 住友生命保険相互会社 三井住友海上火災保険株式会社 ほか7名
従 業 員 数	489名（2003年10月1日現在）
主要取引金融機関	三井住友銀行 住友生命保険 東京三菱銀行 住友信託銀行 みずほコーポレート銀行 農林中央金庫

## ごあいさつ

### 循環型社会の実現をお客さまとともに

#### ■リース事業は循環型産業

2000年6月に「循環型社会形成推進基本法」、更に2001年4月に改正廃棄物処理法や資源有効利用促進法など各種のリサイクル法が施行され、循環型社会形成に向けての取り組みが加速してきています。NECリースは循環型社会実現を目指した取り組みとして、リース満了品の再リースや中古品売却の資産リユースを促進しています。また、リース満了品につきましては、お客さまから廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）を安心してお任せいただけるように、NECと全国に3R拠点を構築し、全国初のOA機器類広域指定産業廃棄物処理者の資格を取得しました。このライセンスを活かし、お客さまとともに循環型社会の実現を図っていきたくと考えています。

#### <サプライヤーさまとともに>

当社の主力取り扱い商品であるパソコンを例にとると、サプライヤーさまには資源有効利用促進法で回収・3Rが求められています。しかし、売り切りの販売方式では設備の所有権はお客さまにあり、サプライヤーさまがお客さまの廃棄設備を回収するのは難しいという問題があります。その点、リース方式では、設備の所有権はリース会社にありますので、リース会社が限りなく100%回収し3Rすることが出来ます。NECリースはサプライヤーさまに回収率向上と3Rで貢献して行きたいと考えています。

#### <お客さまとともに>

改正廃棄物処理法により不法投棄防止を目的とした設備廃棄時の所有者の排出責任が強化され、排出者にとって大きな負担となってい

ます。お客さまには設備を所有するのではなく、設備の機能を所有していただき、リース会社が責任をもって廃棄設備の3Rを行い貢献していきたくと考えています。

#### ■エコリース商品の開発・販促

環境保全事業にファイナンスを付加したエコリース商品の開発・販促を積極的に展開し、屋上緑化、コージェネ、ゴミ処理装置などエコビジネスを通じて省エネ・省資源・廃棄物削減に貢献して行きたいと考えています。

#### ■日常業務の中に環境を取り込む

ブロードバンド時代の到来とともに情報技術が急速に変化する中で、リースの重要性はますます高くなってきています。NECリースは、リース事業にとどまることなく幅広いトータルファイナンスサービスをもって、お客さまに一層お役に立てる金融ソリューション事業に邁進したいと考えております。また、それ自体がエコ活動すなわち環境経営活動と認識しています。



社長 山本 武彦

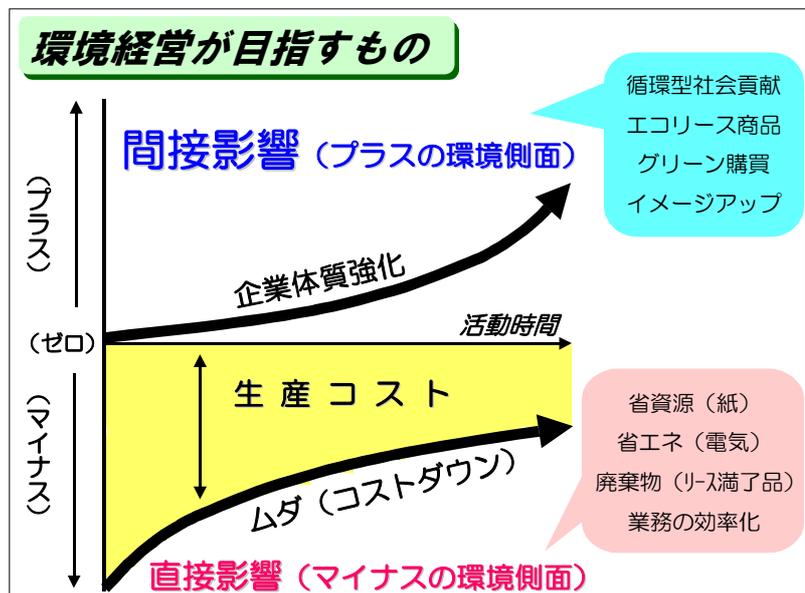
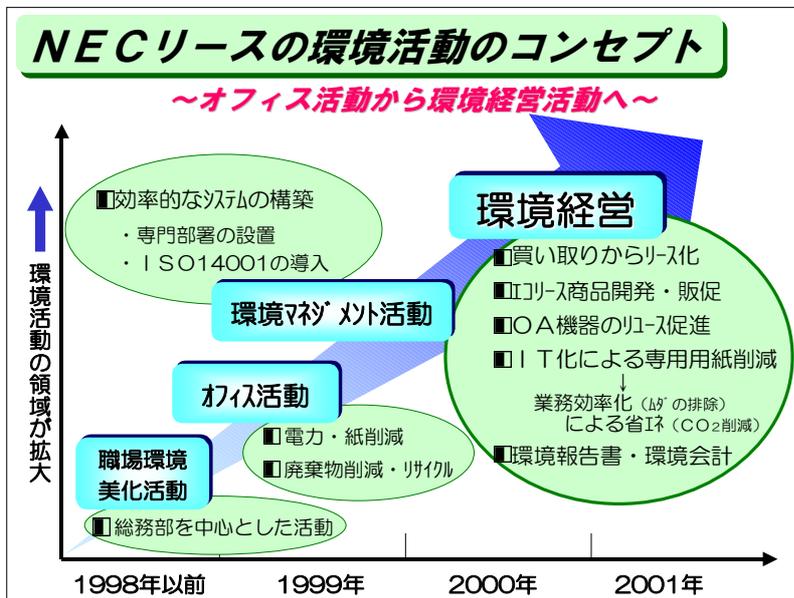
## 環境管理活動のあゆみ

年度	主 な 出 来 事
1998年 以前	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務部を中心に環境管理活動「オフィス活動」を推進</li> </ul>
1999年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001認証登録（本社地区）</li> <li>・営業車の共同利用実証実験「電気自動車カーシェアリング」参画（神奈川支店）</li> <li>・環境管理活動推進部門として環境管理センター設置</li> <li>・新聞発表 日刊工業新聞「期間満了品も再利用」</li> </ul>
2000年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001認証登録（営業拠点を含む全社）</li> <li>・エコ・アップ事業所東京宣言I種認定登録（本社地区）</li> <li>・HPを開設しエコ・コーナーを設置</li> <li>・リース事業協会機関誌に「ISO14001への取り組みについて」論文発表</li> <li>・地域貢献活動としてケナフ栽培開始</li> </ul>
2001年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理活動の主体を「オフィス活動」から「環境経営活動」へシフト</li> <li>・NEC環境大賞が制定され第一回に応募</li> <li>・レンタル・リース事業が循環型産業であることを意識し「環境営業」を中期事業方針に表明</li> <li>・循環型社会形成推進に向けた各種リサイクル法教育を全営業マンに実施</li> <li>・近隣小学校にケナフ学習を実施</li> <li>・神奈川県主催市民活動報告会で「ISO14001の取り組み～家庭への環境活動取り組み展開」を発表</li> <li>・営業車のカーシェアリングによる営業活動がTV放映される（神奈川支店）</li> </ul>
2002年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001更新登録（第1回目）</li> <li>・名古屋市エコ事業所認定登録（中部支社）</li> <li>・第一回NEC環境大賞「特別賞」受賞</li> <li>・日本環境経営大賞が制定され第一回に応募</li> <li>・環境会計を開始</li> <li>・新聞発表 日経産業新聞「新規リース契約資産9割を環境配慮型に」 「環境にやさしいリース強調」</li> <li>・新聞広告 日経産業新聞「名古屋市エコ事業所認定登録とリースは循環型産業」</li> </ul>
2003年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理センター（課レベル）を環境推進部（部レベル）に昇格</li> <li>・HPに2003環境報告書掲載</li> <li>・環境影響評価にエコリース商品開発アセスメントを追加</li> <li>・ISO研修機関にて「リース事業と環境経営」のセミナー講演</li> <li>・経理部門が効果を含む環境会計を発表</li> </ul>

# NECリースの環境経営

「オフィス活動（マイナスの環境側面）」から「環境経営活動（プラスの環境側面）」へ

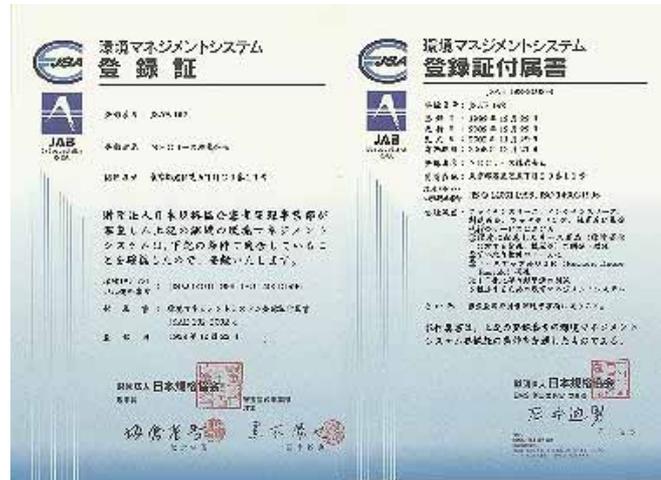
NECリースは当初、オフィスの省エネ・省資源・廃棄物削減などの直接影響（マイナスの環境側面）を小さくする環境活動に取り組んで参りました。しかし、環境負荷が元々小さいこともあり、リソースをかけている割には経営のメリットが乏しいことから、お客さまに近いサイドとして、むしろCSの視点で環境影響を捉える必要があると考えました。そこで、間接影響（プラスの環境側面）を伸ばす活動を環境経営活動として推進しています。具体的には循環型産業のメリットを活かした活動、金融業としてエコビジネスへのトータルファイナンスサービスを通じての活動など、お客さまとともに循環型社会の実現を目指した活動を行っています。



## ● 環境マネジメントシステム

### ■ ISO14001 認証登録

1999年12月に本社地区、2000年12月に営業拠点を含む全社の認証登録を行いました。（審査登録機関はJSA日本規格協会）また、2002年11月に第1回目の更新登録を行いました。

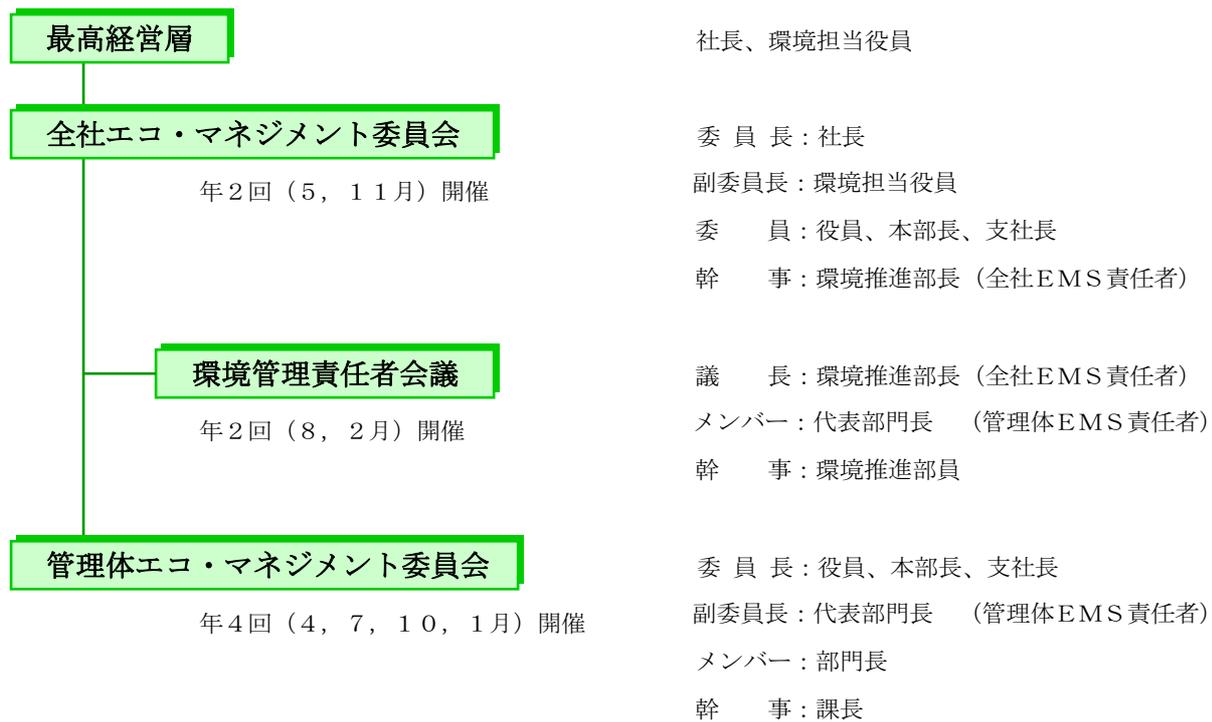


### ■ ISO14001 更新審査結果

注記事項1件を検出したが、JISQ14001の全ての要求事項に継続的に適合していること及び環境マネジメントシステムを適切に実施・維持している。

注記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメントプログラムの手段が明記されていない部門があった。 → マネジメントプログラムの作成フォーマットと施策記入方法を教育に追加した。</li> </ul>
評価 コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営を企業アイデンティティとして力強く実践している。</li> <li>経営層のリーダーシップの下、環境マネジメントシステムが経営活動の一環として取り組まれており、実績も上がりつつある。</li> <li>最終処分場の見学会を実施するなど教育活動も熱心に行われており、部門、構成員への環境マネジメントシステムの浸透も図られてきている。</li> <li>外部へも積極的に情報公開するなど、素晴らしい環境マネジメント活動を実践している。</li> </ul>
改善を 要する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境側面抽出に関し直接的な環境側面の抽出が中心で、間接的な環境側面は方針に基づき抽出されている。製品・サービスについての間接的な環境側面の抽出を更に充実することが、エコ商品の開発・商談・成約等の環境目的・目標展開の広がりと深化に対し、有効な仕組みとなるのではないかと。 → エコ商品開発アセスメントを規程に追加した。</li> </ul>

## ● 環境活動推進体制



<用語の説明> 管 理 体・・・環境経営を推進するため、経営単位に各部門を集合させたもの  
 当社では本社地区及び18営業拠点を10の管理体に区分  
 EMS責任者・・・環境マネジメントシステムの責任者

## ● 環境方針

### 【環境理念】

NECリースは、環境との調和を経営の最高課題の一つとして、環境に配慮したファイナンスサービス活動及び地球に優しいエコ・オフィスづくりを通して、地球環境保全に貢献します。

### 【行動指針】

1. 環境に配慮したリース商品（環境保全に対する装置、機器等）の開発・販促、買い取り物件のリース化（循環型産業としての貢献）を推進するとともに、満了品の3R処理促進及び業務効率化による省エネの推進（CO<sub>2</sub>削減）を図ります。
2. 国及び地方自治体などの環境規制はもとより、その他当社が同意する業界の規範、行政との協定、指針の要求事項を遵守するとともに、その他利害関係者の見解に配慮し、継続的な地球環境保全と環境マネジメントシステムの改善を図ります。
3. 環境管理活動を効果的に推進するため、社長を頂点とした環境管理組織・体制を整備し、環境方針を具現化するための具体的な方策を環境管理年度計画及び中期計画で明確にし、環境パフォーマンスの継続的改善を図ります。
4. 内部環境監査の実施により環境目的・目標の達成度をチェックし、未達成項目の見直しにより環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善を図ります。
5. 従業員への環境教育・意識啓発を行い、従業員一人ひとりが地球的規模の視野に立ち、良き企業市民として行動し、社会に貢献します。
6. 開発した環境の技術・管理ノウハウ及び環境方針は、従業員に周知するとともに利害関係者へ積極的に公開し、地域社会の環境保全に貢献します。

## ● 2002年度の目的・目標と実績

目 的	目 標	実 績	評 価
<b>買い取り物件のリース化推進</b> (循環型社会への貢献) 02年度：80件／03年度：100件／04年度：120件	<b>買い取り物件のリース化件数</b> 80件	99件 (19億円)	
<b>環境に配慮した(エコ)リース商品開発・販促</b> (環境関連設備・機器開発件数、同商談件数、同成約件数) 02年度：開発135件、商談335件、成約265件 03年度：開発145件、商談345件、成約275件 04年度：開発155件、商談355件、成約285件	<b>環境に配慮した(エコ)リース商品開発・販促</b> 開発135件 商談335件 成約265件	開発161件 商談413件 成約324件 (51億円)	
<b>OA機器類のリース満了品リユース促進</b> 02年度：上期27百万円、下期4,200台 03年度：8,100台 04年度：8,200台	<b>中古販売の促進</b> (中古PCWeb、店頭販売、業者売却) 上期27百万円／下期4,200台	上期34百万円 下期6,195台	
<b>コンピュータ用紙の削減</b> (IT化による削減効果をカウント) 02年度：80万枚 03年度：85万枚 04年度：90万枚	<b>コンピュータ用紙の削減</b> 80万枚	89万枚 (48万円)	

## ● 2003年度目的・目標

目 的	目 標
<b>買い取り物件のリース化推進</b> (循環型社会への貢献) 03年度：134件／04年度：150件／05年度：170件	<b>買い取り物件のリース化件数</b> 134件
<b>環境に配慮した(エコ)リース商品開発・販促</b> (環境関連設備・機器開発件数、同商談件数、同成約件数) 03年度：開発173件、商談1,355件、成約573件 04年度：開発180件、商談1,370件、成約590件 05年度：開発190件、商談1,390件、成約610件	<b>環境に配慮した(エコ)リース商品開発・販促</b> 開発173件 商談1,355件 成約573件
<b>満了品の3R処理促進</b>	<b>リース満了品の滞留日数短縮</b> 15日短縮(滞留日数26→11日)
<b>業務効率化による省エネの促進(CO<sub>2</sub>削減)</b> 03年度：297kgC／04年度：299kgC／05年度：301kgC	<b>業務効率化による省エネの促進(CO<sub>2</sub>削減)</b> 297kgC [28,000H(14人分)の工数削減をPCのCO <sub>2</sub> 排出量に換算した数値]

## 環境会計

■経理部が環境省の様式に準じて作成し、環境保全コストと効果を把握しています。

2002年度環境保全コスト				(単位：百万円)	
分 類		取組内容&効果	投資額	費用額	
(1) 事業エリア内コスト	(1) - 1 公害防止コスト	汚染等各種公害防止	-	-	
	(1) - 2 地球環境保全コスト	温暖化防止、省エネ	-	-	
	(1) - 3 資源循環コスト	資源利用、廃棄物処理	-	-	
(2) 上・下流コスト	①グリーン製品購入差額			3	
	②リース資産回収、リサイクル、処理コスト			5	
	③その他リース取引における環境保全コスト			120	
(3) 管理活動コスト	①ISO14001取得・維持管理コスト			2	
	②従業員への環境管理教育活動コスト			7	
	③環境推進部活動コスト			25	
	④本社・拠点などにおける自然保護・緑化等の環境改善対策コスト			0	
(4) 社会活動コスト	①地域環境改善対策及び環境活動支援コスト			2	
	②環境保全のための寄付、支援のためのコスト			0	
(5) 環境損傷対応コスト	①リース資産処分に伴う環境損傷コスト			0	
	②環境損傷修復コスト			0	
<b>環境保全コスト合計</b>			<b>0</b>	<b>164</b>	

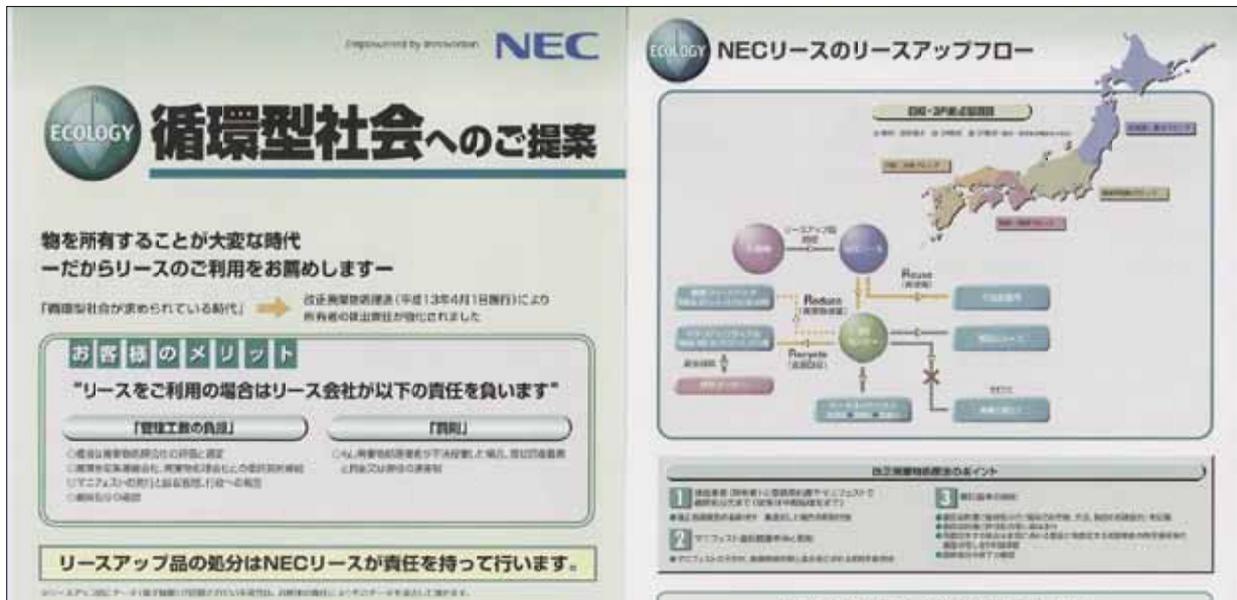
2002年度環境保全効果				(単位：百万円)	
効果の内容		環境保全効果を表す指標		効果額	
		指標の分類	指標の値		
(1) 事業エリア内コストに対する効果	①事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー消費量の減少	用力費の削減額	0	
	②事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	ゴミ、産廃物等の廃棄量の削減	清掃費の削減額	0	
(2) 上・下流コストに対する効果	③事業活動から産出する財・サービスに関する効果	買い取り物件のリース化推進	営業部門申告の成約額の増分	-	
		エコリース商品の開発・販促	エコ商品の成約額	26	
		資産のリユース促進	中古品販売・再リース資産高	447	
		ソフトウェアリース	ソフト単体成約高	7	
(3) その他の環境保全効果	④IT化に伴う紙資源等の削減 ⑤その他	スタッフを中心とした環境保全活動	印刷費の減少や各部門の成果額	0	
		資産の有効活用、環境配慮への投資、地域社会貢献	リース資産の転用、グリーン製品購入、地域との環境交流	0	
<b>環境保全効果合計</b>				<b>480</b>	

# 活動事例

## ● 環境経営活動

### ■ 買い取り物件のリース化推進

2001年4月の改正廃棄物処理法により、排出者の管理責任や罰則が強化されました。特に廃棄物管理組織を持たない企業の負担が増大した為、リーフレット(循環型社会へのご提案)を作成し、CS活動として、改正廃棄物処理法のご説明とNECリースの回収・3Rのスキームをお客さまにご提案しました。



### リーフレットの効果が大きい事例

【(株) I 企画殿の店舗設備成約：1億8千万円】

I 企画殿

店舗設備の  
買い取りを  
考えていた

日頃カバンにいていた  
「循環型社会へのご提案」  
リーフレットを提示

NEC  
リース

リースを使用した場合の環境面の  
利点を当社リース満了品3Rシ  
ステムを積極的にアピール

「買い取りからリースへ方針転換」

## ■環境に配慮した（エコ）リース商品開発・販促

環境保全事業や循環型産業の設備調達手段としてリース、割賦、ファクタリング等を用いたエコリース商品をお客さまと協働で開発し、販促しています。

### エコリース対象品事例

#### エネルギー装置関連

- ・省エネ（熱、電気、コージェネ関連）
- ・ゴミ発電、RDF発電関連
- ・バイオマス
- ・燃料電池
- ・太陽電池、太陽熱
- ・風力発電
- ・その他エネルギー関連

#### 廃棄物処理装置関連

- ・焼却装置、プラントシステム
- ・再資源化処理装置
- ・有機性廃棄物処理装置
- ・医療系廃棄物装置
- ・汚泥処理装置
- ・埋立処分施設関連設備、資材

#### 公害防止関連

- ・排ガス処理、空気清浄関連装置
- ・代替フロン、ノンフロン関連、温暖化防止装置
- ・排水、汚水処理装置、水質汚濁防止装置
- ・土壌、地下水汚染防止装置
- ・ダイオキシン防止装置

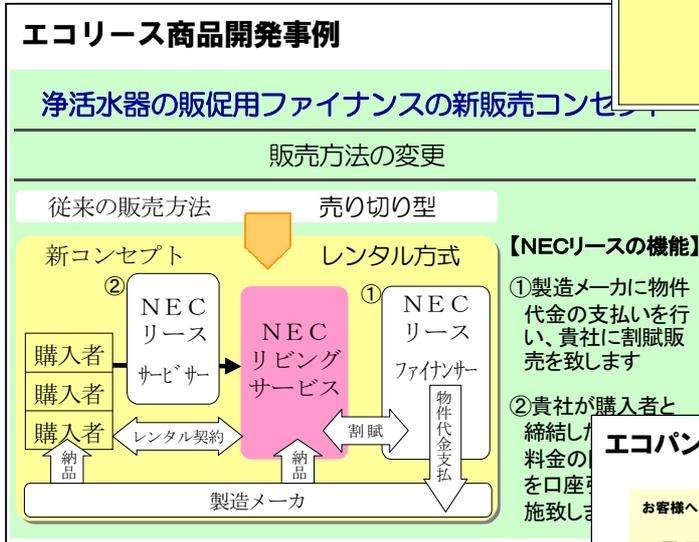
#### 環境調和・省資源関連

- ・低公害車、自動車関連
- ・建設、社宅
- ・省資源、技術（雨水利用等）
- ・生物、農業
- ・緑化、ビオトープ、多自然型工法
- ・環境負荷の少ない技術

### エコリース商品開発アセスメントシート

【物件名：.....】

(1) 環境負荷を低減させる装置	①公害防止	<input type="checkbox"/> 大気汚染防止装置	<input type="checkbox"/> ごみ処理装置
	②省エネ型装置・技術システム	<input type="checkbox"/> 燃料電池	<input type="checkbox"/> コージェネレーション
	③自然エネルギーによる発電システム	<input type="checkbox"/> 水力発電装置	<input type="checkbox"/> 風力発電装置
(2) 環境への負荷の少ない製品	①低公害車	<input type="checkbox"/> 電気自動車	<input type="checkbox"/> ハイブリッド自動車
	②廃棄物のリサイクル・省資源化	<input type="checkbox"/> ガラスカレット	<input type="checkbox"/> 再生プラスチック
	③より環境への負荷の少ない商品	<input type="checkbox"/> 生分解性プラスチック	<input type="checkbox"/> その他エコマーク製品



### エコパンフレットによるエコ商品拡販

お客様へ

**NEC**  
NECリース

**エコロジー商品のご案内**



循環型社会が求められている時代だからこそ・・・

当社はリースアップ品の3R(Reduce, Reuse, Recycle)と環境に配慮したリース商品の開発・販促に取り組んでおります

**ISO14001を取得しております**

大気汚染防止装置・水質汚染防止装置・ごみ処理装置・フロン排出抑制装置燃料電池・コージェネレーション・パンプノクター等、環境に配慮したエコロジー商品がござい、且し様々な金融サービスをお客様をサポートいたします。詳しくは下記までご連絡ください。

NECリース株式会社  
御座成  
TEL.054-253-0411  
FAX.054-053-0412

ISO14001取得企業を中心にパンフレットを配布

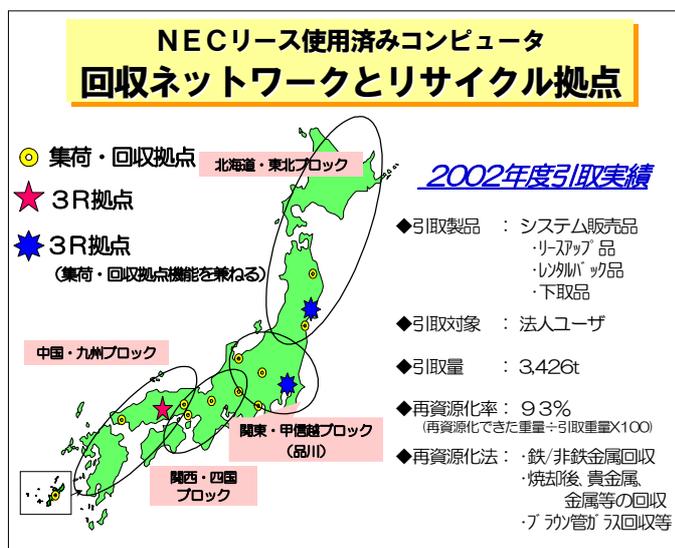
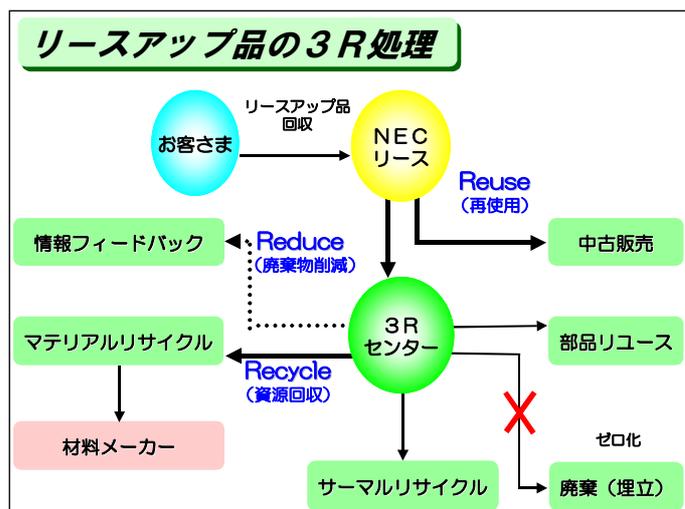
↓

当社の環境姿勢をアピール

エコリース商品拡販

## ■OA機器類のリース満了品リユース促進（回収・3R）【法遵守】

NECは日本で初めてのOA機器類に関する広域再生利用指定産業廃棄物処理者の資格を取得しました。このライセンスを活かしたリースアップ品の3R処理を実施しています。リースアップ品の処分はNECリースが責任を持って行います。



## ■コンピュータ用紙の削減

- ・ E O S S - P 電子契約システムによって見積書・申請書・契約書が作成不要になり、紙の削減に繋がりました。

### LM~EOSS-P連携

**EOSS-Pとは？**

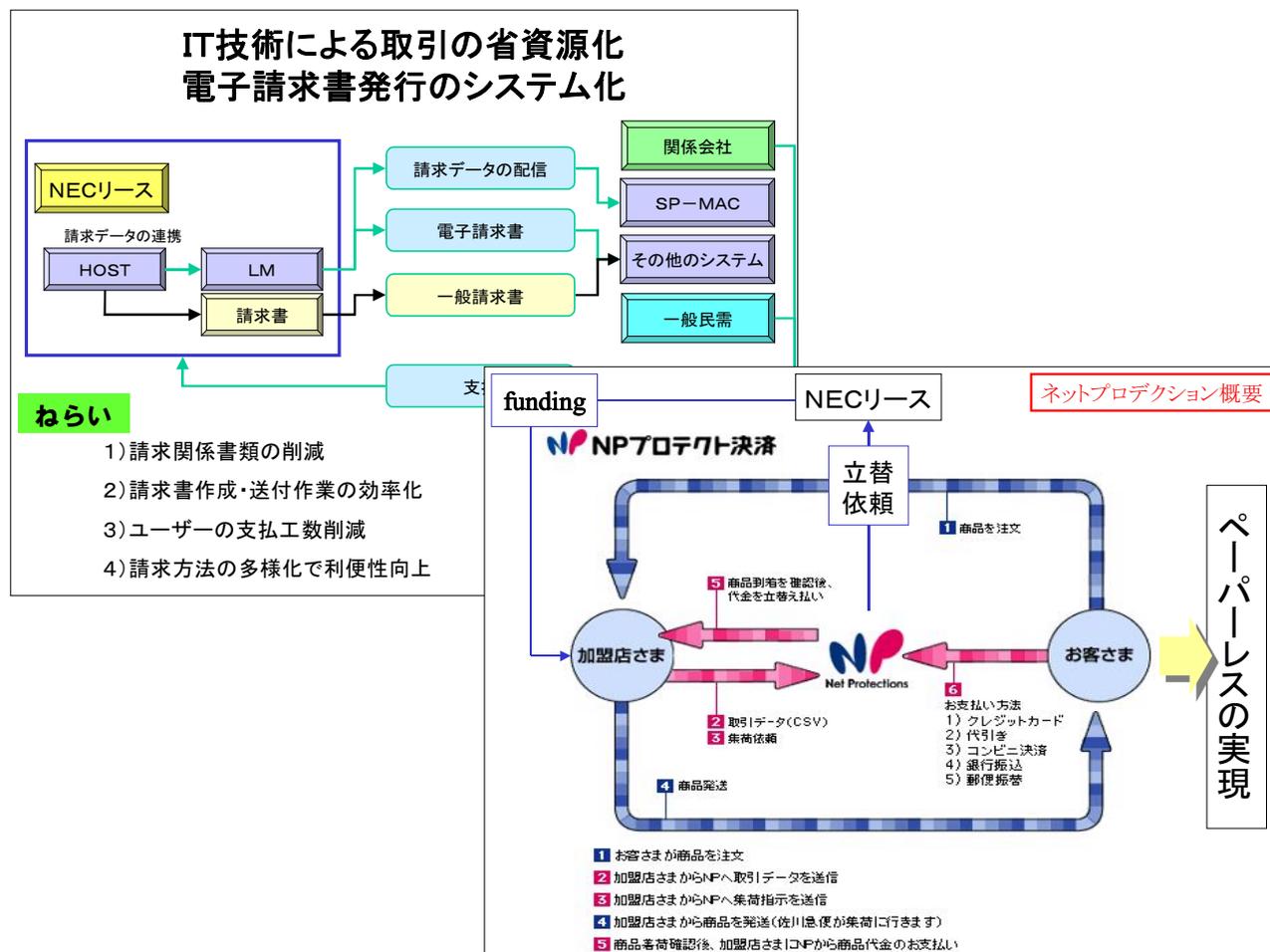
- ☑ NECグループ会社が文具や書籍を購入する際に利用しているWebサイト。
- ☑ 11月15日より、PCやサーバといったOA機器もEOSS-P上で購入可能。  
(買取/NELでリース)
- ☑ OA機器をリースする場合は見積/契約をWeb上で実現。  
(自動見積機能・電子契約) ※事前に基本契約を締結します

**EOSS-P連携によるメリット**

- ☑ 当社への効果・・・見積書・申請書・契約書作成不要  
→ 紙の削除
- ☑ ユーザーへの効果・・・契約書の電子化により、管理工数・費用の削減  
→ 契約書管理キャビネット等の削減

NELとNECだからこそできる差別化  
事業と一体となったエコ活動  
営業と一体となったエコ活動

- ・ I T を使って、リース業として使用する紙を削減しました。  
(電子ファイリングシステム、PIF View 電子帳票化配信ツール、契約情報 CD-ROM 化、先行ファクタリング、一括ファクタリング、ハガキ請求書・引き落としデータ利用による自動発送)



## ● コミュニケーション



第一回NEC環境大賞「特別賞」を受賞しました。



NEC環境フォーラムで「リース事業における環境配慮の取り組み」をテーマに講演及びパネル展示をしました。



日経産業新聞に当社の環境経営方針（買い取りからリースへ、エコリース商品の拡大）を紹介しました。



中部支社が第2回名古屋市エコ事業所に認定され、日経産業新聞に広告を掲載しました。



名古屋市環境局主催の「なごや2002環境デー」に参加し、リーフレット（循環型社会へのご提案）を配布してNECグループのリサイクルの取り組みを名古屋市民にアピールしました。



横浜みなとみらい21地区の電気自動車のレンタルシステム（CEVシェアリング）に加入し、営業活動に電気自動車を使用しています。この取り組みがテレビ東京のワールド・ビジネス・サテライトで放映されました。

### 「循環型社会へのご提案」リーフレット活用状況アンケート

- 設問1 お客様訪問の際「循環型社会へのご提案」リーフレットを配布活用したことがある。
1. はい ( 社 )      2. いいえ ( 社 )
- 設問2 「循環型社会へのご提案」リーフレットについてのお客様の反応はいかがでしたか。
1. 大変興味を示した ( 社 )  
2. やや興味を示した ( 社 )  
3. 興味を示さなかった ( 社 )  
4. その他
- 設問3 お客様はリーフレットのどの部分に興味を示していましたか。
1. ISO14001について ( 社 )  
2. リースアップ品の3R処理について ( 社 )  
3. 改正廃棄物処理法について ( 社 )  
4. その他 ( 社 )
- 設問4 リーフレットの内容について追加、訂正した方が多い箇所あるいは削除した方が多い箇所等、ご要望等がありましたらご記入下さい。

### 「循環型社会へのご提案」アンケート結果



- リーフレット活用状況**
- NEC F Dと東証指定したリーフレットサービスのアピール (6社)
  - 3R処理の具体的な影響 (2社)
  - ユーザー層別でのリーフレットの活用状況 (1社)
  - 「U e e d P C 削減」のメリットについて (1社)
  - 循環型社会を目指すなら多くの企業を有する (1社)
- まとめ**
- リーフレットを活用した企業担当者は全体の90%に達し、ユーザーも興味を示している (8社)
  - ユーザーの興味を示している点については、3R処理と改正廃棄物処理法を合わせて約85%に達した
  - リーフレットは非常に有効に活用されているが、要望ではユーザーが 最も関心を持っているリースアップ品の3R処理サービス追加が望まれている。

営業マンに対し、リーフレット（循環型社会へのご提案）の活用状況調査を実施しました。

## ● 環境教育・意識啓発



新入・転入・派遣社員教育、環境関連法令教育、著しい環境側面従事者教育、エコマネ委員教育、環境目的・目標教育、環境管理年度計画作成教育等を実施しています。



リース終了品処理の知識及びリユース（中古販売）の理解を深める為、PCテクノロジー・USED PC ショップ・リサイクル業者・NECフィールドディングの3R作業現場見学を行いました。

### 省エネチェック！

チェック項目	
エアコンを使用していない時、プラグはコンセントに差込んでいない	エアコンのフィルターは定期的に掃除していない
エアコンの設定温度は夏に26℃以上、冬に20℃以下に設定していない	冷蔵庫・冷凍庫には、暑いものをそのまま入れていない
冷蔵庫の扉を開いたままにしていない（又は開けている時間が長い）	冷蔵庫の間に隙間がある（ドアパッキンが劣化している）
冷蔵庫内は食品がぎゅうぎゅう詰まりになっていない	人のいない部屋でも照明はつけたままではない
テレビの映像録画（レコーダ）は録画ではなく最大に設定している	長時間留守にする時、テレビのプラグはコンセントに差込んでいない

お風呂の残り湯を洗濯に利用 洗濯物は少量（洗濯機容量の 電子ジャー炊飯器の保溫を 電子ジャーポットを長時間使	業 務		1人あたり		H14.6比増減率 (CO <sub>2</sub> 排出量)
	CO <sub>2</sub> 排出量 (Kg)	家計支出 (円)	CO <sub>2</sub> 排出量 (Kg)	家計支出 (円)	
管理体	3,094	205,960	40	2,675	-9%
スタッフ	4,222	281,360	49	3,234	-11%
電子ジャー炊飯器の保溫を 電子ジャーポットを長時間使	3,183	212,240	44	2,907	16%
新事業	1,451	96,570	60	4,024	-14%
第 一	2,148	142,770	36	2,420	-8%
第 二	2,160	144,120	32	2,119	-26%
地 域	2,148	142,770	36	2,420	-8%
關 東	745	49,830	32	2,167	-22%
中 部	1,099	73,140	42	2,813	-33%
關 西	1,999	133,160	46	3,097	-23%
九 州	1,567	104,300	47	3,161	-20%
全 体	21,668	1,443,450	42	2,814	-14%

環境月間活動として、全従業員に対して家庭での省エネ調査を実施しました。これは、各自が家庭でのCO<sub>2</sub>排出量及びそれに伴う家計支出を把握し、ライフスタイルの見直しを図る為です。第1回調査項目の中で、各自が未実践項目を環境方針カードの「家庭又は地域で環境配慮している事項」に記入し、チャレンジしました。その結果、半年後に実施した第2回調査では1人あたりのCO<sub>2</sub>排出量が14%削減されました。

## ● 社会貢献活動



小学校から「地域の方に学ぶ環境教育」の一環として、児童にケナフ紙漉し実習をさせる為に指導を依頼され、実施しました。実習後、児童からお礼の手紙とケナフで作った絵ハガキが届きました。



制服（女性用）を廃止したことに伴い、未使用及びクリーニング済中古制服をボランティア団体「AAA」に274着（スカート、ベスト、ブラウス）を寄贈しました。衣服箱詰めボランティアにも参加し、目録を贈呈しました。制服は、インドのマザーテレサ関係施設へ送られます。

## ＜環境報告書 2003 アンケート用紙＞

NECリースの「環境報告書 2003」をご覧ください、ありがとうございます。  
 本報告書をお読みいただいた皆様のご意見・ご感想をお聞かせいただきたいと思ひます。  
 お手数ですが、下記の質問事項にご回答の上、Fax でお送り下さいますようお願い申し上げます。

FAX : 03-5476-1689

NECリース株式会社 環境推進部

Q 1. 環境報告書をお読みになって、どのようにお感じになりましたか？

分かりやすい       普通       分かりにくい

Q 2. 報告書の中で興味をもたれた内容はどれですか？（複数回答可）

ごあいさつ       環境活動のあゆみ       NECリースの環境経営  
 環境マネジメントシステム       環境活動推進体制       環境方針  
 2002 年度目的・目標と実績       2003 年度目的・目標       環境会計  
 環境経営活動（      ページ）       コミュニケーション       環境教育・意識啓発

Q 3. 環境報告書をどのようなお立場でお読みになりましたか？

株主       当社と取引関係       政府・行政関係       環境NGO/NPO  
 報道関係       企業の環境担当者       学生       当社が立地する地域の方  
 その他（具体的に：      ）

Q 4. 環境報告書を何でお知りになりましたか？

当社のホームページ       セミナー・講演会・展示会  
 当社の社員       その他（具体的に：      ）

Q 5. 当社の環境活動について、どのようにお感じになりましたか？

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入下さい。

お名前		性別	男・女	年齢	歳
ご住所	〒				
ご連絡先	TEL	FAX			
	E-mail				
ご職業・勤務先・学校					

NECリース株式会社

〒108-0014 東京都港区芝五丁目 29 番 11 号 (NEC住生ビル)

発行 2003 年 6 月

改訂 2003 年 10 月

お問い合わせ先 環境推進部

TEL (03) 5476-8954

FAX (03) 5476-1689

URL <http://www.nec-lease.co.jp>